

実行委員長メッセージ

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散し、収束の目途が立たない状況にあります。このような状況を踏まえ第91回小田原・足柄地域メーデーは開催形式を変更し、連合神奈川ホームページ内のインターネット会場での開催になりましたことをご理解願います。日本国内でも緊急事態宣言が発令され、今後どのように展開するかは予断できませんが、皆様の慎重な行動が大切だと思います。今回のメーデーでは働く者の団結でこの難局を乗り越えていくことを確認し合いましょう。



なお、小田原・足柄地域労福協が主体となって進めているタオル一本運動とフードドライブの取り組みについては、これまで通り可能な範囲で取り組みを進めます。フードドライブとは家庭で賞味期限があるのに使われていない食品を持ち寄り、食品を必要な方にお届けする活動です。「貧困問題」と「食品ロス問題」の解決の一端を担う活動として、「フードドライブ」および「フードバンク」の取り組みへのご協力をお願いいたします。

さて、昨年4月に働き方関連法案が施行されましたが、今回の法改正は企業主導の内容であり労働者が自分で働き方を選べる環境になっていません。働き方改革を進めるうえで必要なのは、そこで働く人の声が反映されなければ本当の働き方改革にはつながらないと考えます。働き方改革の名に値する職場環境・労働諸条件の改善に労働組合が先頭に立って取り組んでいかなければなりません。

しかし、現在の労働組合の組織人員・組織率は大幅に減少し、労働運動全体がその影響力の低下を余儀なくされています。今、連合運動には社会全体に向けて労働組合に対する社会的価値を高める活動が求められています。地域連合では、最低賃金の改定や働き方改革など、その時々、社会的諸課題をテーマに取り上げ小田原駅付近において街頭啓発活動を展開してきました。今後も社会全体に向けて労働組合の社会的価値を高める活動にも力を入れていきます。

5月10日告示、17日投開票の日程で小田原市長選挙が行われます。私たちの暮らしは、職場内で労働条件の改善に取り組むだけでは良くなりません。税や社会保障など、労使だけでは解決できない課題も多く、政治に無関心な人も政治と無関係ではられません。労働組合としても積極的に政治に関わりを持つ必要があります。

小田原・足柄地域連合では、私たちが求める政策・制度要求に関しても積極的に推進してきた加藤憲一小田原市長と良好な関係を築いてきました。この地域で働く者の声を実行に移すなど、常に人々の話を聞き、ひとつひとつの課題を成功に導いてきたその手腕と、誠実かつ静かなる情熱を持つ人柄を評価し推薦決定をしました。今回は非常に厳しい選挙戦が予想されています。皆様におかれましては現職の加藤憲一さんの再選に向け、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日本は、これから人類史上いまだかつてない急激なスピードと規模で人口減少と高齢化が進む時代の大きな変化に直面しています。これまでの常識や前提条件などに囚われることない根本的かつ大胆な発想が求められています。私たちも時代の流れを見極めながら、産別、単組の枠を超えた顔の見える活動を大切に、小田原・足柄地域らしい労働運動を進めていくことをお誓い申し上げ、メーデー実行委員会を代表してのご挨拶といたします。

2020年4月25日

第91回小田原・足柄地域メーデー実行委員会

実行委員長

安池 厚二